

仕上がり線

297mm



仕上がり線



1 2006 ブリーディング開始



2 2007 犬猫殺処分ゼロ活動



3 2011 ドッグ介在教育開始



4 2011 ドッグセラピー活動



6 2018 西南学院大学講義



7 2014 障がい者就労支援



6 2013 NPO法人化



5 2012 犬カフェ開店



9 2019 子ども食堂開始



10 2021 カタノダブルス開店



11 2024 源喜PJ開始



210mm

解決したい社会問題

高齢者の社会参加

退職すると外出をする理由がなくなってしまう、知らず知らず引きこもりがちになることも少なくありません。

医療費や介護費増大

今後、高齢者人口の増加に伴い、医療や介護の経費の増大が考えられます。

犬猫殺処分

高齢者がご自身の体調不良により飼えなくなり犬が捨てられる事例が増えています。

障がい者の就労支援への求め

障がい者の就労の場の選択肢は田舎にいくほど、まだまだ狭い現状があります

本部

福岡県北九州市小倉北区片野3-14-1
093-923-2128

支部

福岡県鞍手郡鞍手町上月1037
0949-28-8252

HP <https://dtj.or.jp/>

✉ info@dtj.or.jp ✉ dtj.fukuoka01@gmail.com

寄付で応援

寄付先 郵便局




ゆうちょ銀行 普通預金
トクヒ)ドッグセラピージャパン
口座番号:0557570
店名:七四八 ナナヨンハチ

ペイペイQR



犬が大好きなすべての人が
少しでも長く
犬と一緒にすごせますように

 特定非営利活動法人
ドッグセラピージャパン



未来サポーター基金



ドッグセラピージャパンが重点的に取り組むテーマの中から、寄付金の使い道をご指定いただける寄付制度です。指定可能な使い道は、「セラピードッグ育成」「子ども食堂」「サポート」「施設整備」「プロジェクト」の5つです。

募集期間 4月1日～翌年3月31日

募集金額 一口1万円

一口以上何口でも結構です。また一口1万円未満でもありがたくお受けします。

01 セラピードッグ育成資金

すべての活動の中心セラピードッグ

◆セラピードッグ育成の原資

活動に欠かせないセラピードッグ。育成するには食費をはじめ日用品が必要です。セラピードッグの育成にお力をおかけください。

◆ワクチン・薬・治療費の原資

セラピードッグの訓練を始める前に畜犬登録をはじめ狂犬病や混合ワクチンの接種が必要です。セラピードッグの健康づくりのためにお力をおかけください。



02 子ども食堂サポート資金

短い子ども時代の体験を豊かに

◆食料・学習支援

子どもが笑顔で過ごすための大きな支えになり、子どもの未来に繋がります。そんな子どもたちを、はぐくみ、見守る活動にご支援を賜りますようお願い申し上げます。豊かな笑顔を届ける活動です。



◆機会の創出

「犬とまた一緒に遊びたい」や季節のイベントでバスハイクや野外活動を行い、いろんな世代の方と共に過ごし共通体験を重ねることで、多くの気づきと発見をもたらす子どもから高齢者まで学ぶチャンスが広がり、日常生活ではできない体験ができます。

03 サポート資金

人と動物との共生社会づくり

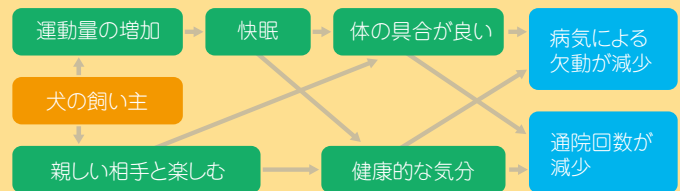
◆動物福祉理念の普及や、非営利団体の全般的な活動のためのご寄付

命の大切さを伝えるとともに、「動物と人が幸せに共存できる日本」「殺処分ゼロの国 日本」の実現のために、ひたすら地道に活動し続けていきます。これらの活動を広げるために、ともに社会を変える仲間になって人と動物に関わる社会問題を解決しましょう。



◆活動強化につながる支援

ドッグセラピー活動をはじめ、いろんな活動基盤を確立・強化するためのご支援をいただくことで、活動の持続的な成長・拡大に向けた体制が整い、非営利団体基盤全体の底上げができます。



04 施設整備サポート資金

笑顔を届ける活動のさらなる充実のため

◆施設の拡充・整備につながる支援

長期ビジョン(セラピードッグの育成、人材の育成と交流のための拠点—ドッグセラピストとして活躍する強く輝く「個」を育てる育成の実現)を推進していくために、快適で安全な教育・活動環境の整備に活用します。



◆セラピードッグの安心・安全を確保

トイレ環境、空調設備、防災機能の強化、育成環境向上の設備改善を行うとともに安心で安全、快適な育成施設の環境づくりに活用します。

05 源喜プロジェクト資金

心豊かな社会
犬と暮らしやすい世の中を目指して

◆人が自然と集まる多世代交流複合施設

「健康寿命延伸」「認知症予防」「ひきこもり支援」「生活支援サービスの充実」を図り、自宅以外でリラックスした時間を過ごせ、生きがいをもって健康で安心した生活を送ることができる【地域にひらかれた魅力ある多世代交流複合施設】整備に活用。



◆健康的な未来のため

高齢者にとって犬との生活は、うるおいのある生活を送ることができる側面もありますが、御自身の健康等の理由で世話ができなくなる不安は、犬を飼っている方に止まらず、飼いたいと思っている方があきらめる理由の多くを占めています。動物愛護センターによると犬猫の引取依頼のうち、「飼い主の体調不良・死亡」の割合が増えている状況など、犬を飼う高齢者の不安が現実化しているため、高齢者も安心して犬と生活できる仕組みが必要です。源喜生活プロジェクトは、高齢になっても安心して犬と暮らせるサービスを実現します。

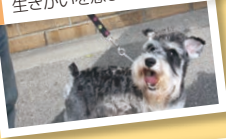
健康効果



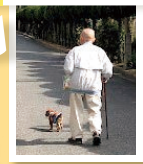
犬と散歩することによって運動不足が解消



生きがいを感じながら充実生活



生活リズムが規則的に



孤独感の解消と社会参加を実現



オキシトシンが分泌されストレスが軽減



実現したい未来

これから犬を飼いたい高齢者が安心して犬を飼うことを選択できる社会
犬を飼っている高齢者が安心して犬と一緒に暮らすことができる社会

現状

高齢者が犬を飼うにあたって、健康等の理由によって世話ができなくなる不安は、現在犬を飼っている方に止まらず、飼いたいと思っている方があきらめる理由の多くを占めています。また、現に高齢の飼い主が犬の世話をできなくなったり、犬だけ家に取り残されたりする状況が社会問題化しています。

解決したい課題

- 高齢の飼い主が十分に世話ができなくなった時に、飼い続けられるように支援する仕組みがない
- 高齢の飼い主が入院や亡くなった時に、犬を次の飼い主へつなぐ仕組みがない
- 高齢の飼い主からの犬に関する相談に対応する場がない

想定する解決策

- ① 長期入院時は無料で預かり
- ② 健康で人なつっこく里親を探しやすい犬

高齢者と犬との暮らしをサポートします



1 コミュニティでの支援

月に1回、トリミングやフードを月会費だけで提供。障がい者トリマーや業者割引のフード購入により可能。

2 犬の予防注射や病気の支援

犬のワクチンや予防注射・薬など、動物病院との提携により提供可能。

3 飼い主の病気のときの支援

4 飼えなくなったときの支援

飼い主である高齢者の方の病気、一時的な入院の際には、無料で預かり。飼えなくなったときには、引き取って、新しい飼い主と引き合わせる。生まれ育った場所なので安心して長期に無料で預かれます。また、人なつっこく育てるので、新しい飼い主(里親)も早期に決まり安心。

① コミュニティでの支援

② 犬の予防注射や病気の支援

高齢者が安心して犬を飼える環境

④ 飼えなくなったときの支援

③ 飼い主の病気のときの支援